

この資料は、お客様よりお問い合わせのある、バインド方法についての参考(ヒント)資料として作成しています。バインドが正常に行われられない場合、以下の項目を再確認してください。

詳しくは、ヒロテックが提供しております、日本語の【わかる！ T15フライトコントローラーの初期設定】をご覧ください。

■□1. バインド前の送信機の設定チェック

- 1通信システムがS-FHSSになっていますか。
- 2スワッシュタイプはH-1に設定されていますか。
- 3サーボリバーはAIL/ELE/THR/RUD/GYRO/PITすべてノーマルに設定されていますか。

■□2. バインド前のT15Gフライトコントローラーの設定チェック (T5G設定用アプリを使います)

※タブレットまたはスマートフォンへT15G設定アプリはインストールされていますか。

- ☆ 設定アプリ内の「送信機」の設定では、スロットルとピッチのみリバーにチェックマークしてください。(エルロン、エレベーター、ラダー、飛行モードのリバーチェックは外したままに。)
- ☆ 上記設定は正しく保存されていますか。

アプリの設定メニューで設定した値は、アプリのホームポジションの「切断」操作で保存されます。

■□3. T15Gコントローラーのバインドボタンの押し方

- ☆ バインドボタンの押し時間が短いと、バインドが完成しない場合があります。バインドボタンは5秒程度長押しをしてください。

■□4. 接続したサーボ等の不具合

- ☆ サーボモーターが故障していると、バインドが出来ない場合があります。サーボモーターに異常がないか確認をしてください。

■□5. ブルーツースステータスLED(赤)とステータスLED(水色)が交互点滅するのでバインドが外れたと勘違いしていませんか。

- ☆ すでに送信機とバインドができているので、T15GのLEDが交互点滅表示される場合があります。
・設定アプリの「送信機」メニューで、送信機のスティック操作キャリブレーションが不完全だと、この症状が起こることがあります。この場合、T15G設定アプリを起動・接続し、「送信機」メニューを開いて、送信機のスティックを操作すると、送信機のスティック操作に対応したスライダーが追従して動き、バインドの状態を確認できます。

- ・送信機のスロットルスティックが最スロー位置で、キャリブレーションを完成させていることが重要です。この場合、送信機のスティックキャリブレーションを再度行ってください。